

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	・目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。			・特になし
水質調査結果	基本・補助監視地点	基準値 St.1～4:SS=7mg/l St.5～7:SS=11mg/l ・基準値を超える値は観測されなかった。	・流入水路部からの降雨や生活排水などの濁水流入や、波浪による底質の巻上げなどが影響していると考えられる。	
	工事の濁り監視地点	基準値 St.8～18, 21～23: SS=11mg/l ・基準値を超える値は観測されなかった。		
	流入水路部調査地点	・SS = 11mg/lを超えた回数: St.A = 52回(12～92mg/l)、St.19 = 39回(12～80mg/l)、St.20 = 42回(12～46mg/l) ・St.Aでは1日～28日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は9日午後(92mg/l)に観測された。 ・St.19では1日～2日、4日～18日、21日～28日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は9日午後(80mg/l)に観測された。 ・St.20では1日～28日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は9日午後(46mg/l)に観測された。		
	流入水路部調査地点(St.A, St.19, St.20)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。			
気象概況	・14日は強風のため午前中の調査を中止した。 ・17日は南南西ないし南西よりの風が強く(最大風力5)であり、午後からは流入水路部の調査地点のみ計測した。 ・22日は東ないし南東よりの風が強く(最大風力5)であり、午後からは流入水路部の調査地点のみ計測した。 (最大風力は調査員による現場観測値)			
補足項目(新種等)調査結果	・H18年度環境監視計画に基づく「補足項目(新種等)」に関する年間調査計画は以下のとおり。 カビルモ類監視調査:H18年4月～(原則四季:年4回) ニライカネウツリ調査:H18年4月～(原則四季:年4回) オサカナドリカイ監視調査:H18年4月～(原則四季:年4回) オキナワワラカニ生息監視調査:H18年4月・8月・9月・H19年2月 ・結果についてはホームページにて公表中。			
工事実施状況	・浚渫作業(浚渫工事):1～5、8～10、12～13、15～27日(合計23日) ・石材運搬・投入(浚渫工事):5、7、9、12、15、17日(合計6日) ・石材運搬・投入(C護岸工事):1～3、6、8～10、13、18日(合計9日) ・シルトの除去作業(C護岸工事):19～21、23～24、26～28日(合計8日) ・石材運搬・投入(D護岸工事):1～3、6～10、12～17、19～21、24、26～28日(合計21日) ・裏埋材・石材運搬・投入(イ中仕切工事):5、9～11、13、15～17、19～24、26～28日(合計17日)			